

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 NPO日本インターネットスクール協会静岡事務局

1. 事業名称 定住外国人のためのにほん語講座

2. 事業の目的

日本語を母国語としない外国人に、就職の際に有利になるような日本語能力を身につける。また、職種による日本語の専門用語も指導する。また、地域社会の住民として生活できるための日本語も取り入れ、且つ、地域柄防災講座も取り入れながら、多文化共生に寄与する。加えて、それを指導する日本語教師420時間コース修了者、又は日本語教師育成希望者に、補助者として、もしくは実習として経験を積ませ、より良い日本語教師を育成する。

3. 事業内容の概要

受講生の勤務状態と日本語能力を考慮し、週2日(A、Bコース別)各2時間の講座を設ける。基本的に日本語だけで日本語の授業を行い、生活者としての日本語、及び、労働者としての日本語の両面を指導した。また、地域柄、2,3回の防災講座も取り入れた。更に、特にAクラスのフィリピン人は来日して間もない受講生が多かったため、また受講生の日本語レベルに多少の差が生じますので、個々に応じるために、昨年度半年間に渡って日本語教師420時間コースを修了した研修補助講師を付けながら、母国語の通訳者も補助した。

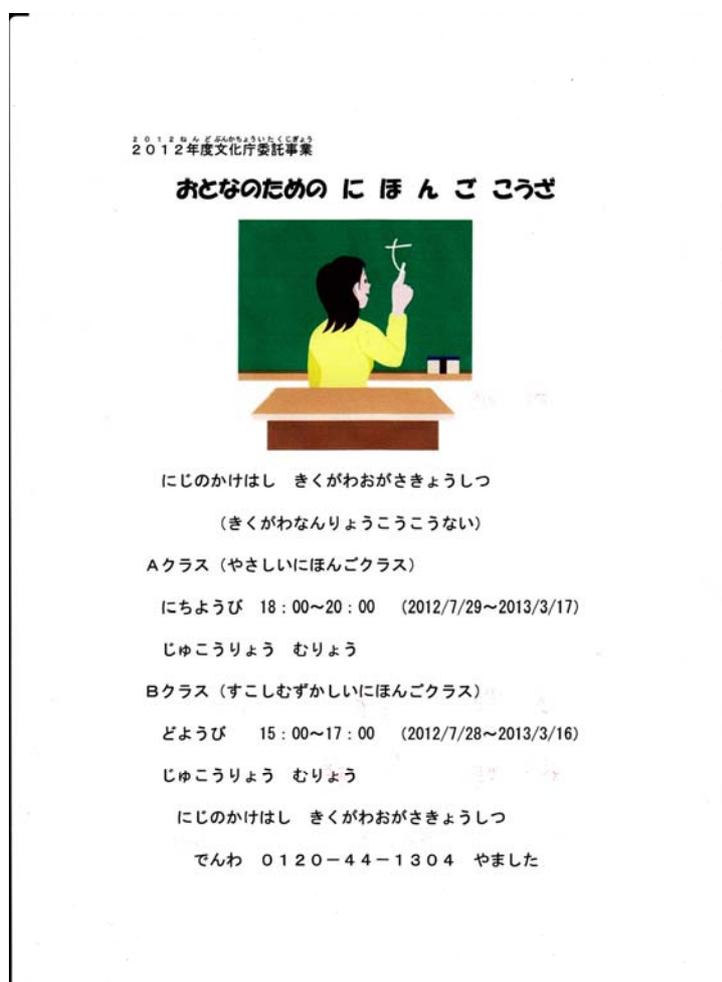
4. 運営委員会の開催について

【概要】

| 回数 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 出席者 | 議題 | 検討内容 |
|----|----------------------------|-----|------------|---------------------------|--|--|
| 1 | 平成24年7月20日 10:00~12:00 | 2時間 | 菊川小笠 教室 | 山下泰孝、松岡みどり、福井紀子、坂東麻子、木原郁乃 | 事業内容の説明、受講者募集と現受講希望者の報告、カリキュラム案・使用テキストの紹介・今後のスケジュール案等を話し合う。 | カリキュラム案・使用テキストの紹介・今後のスケジュール案 |
| 2 | 平成24年7月26日 10:00~12:00 | 2時間 | 菊川小笠 教室 | 山下泰孝、松岡みどり、福井紀子、坂東麻子、木原郁乃 | 募集チラシの説明、受講者募集と現受講希望者の報告、カリキュラム案・使用テキストの紹介・今後のスケジュール案等を話し合う。 | 第1回目の運営会議で提案されたカリキュラム案・使用テキスト・今後のスケジュール案について意見を聞き、一部修正した。 |
| 3 | 平成24年10月4日 10:00~12:00 | 2時間 | 菊川小笠 教室 | 山下泰孝、松岡みどり、福井紀子、坂東麻子、木原郁乃 | 受講者出欠と受講状況を報告。カリキュラムの進捗状況を確認。Aクラスの11月臨時交代を伝え、今後のスケジュール案等を話し合う。 | A、Bクラスとも、カリキュラムの進捗状況と防災講座の実施日を検討。Aクラスの11月、担当講師が小学校での実習に参加するため、臨時交代を検討。今後のスケジュールも検討した |
| 4 | 平成24年12月20日 10:00~12:00 | 2時間 | 菊川小笠 教室 | 山下泰孝、松岡みどり、福井紀子、坂東麻子、木原郁乃 | 受講者出欠と受講状況を報告。カリキュラムの進捗状況を確認。Bクラスで勤務体系変更のため、1月から2名の退会を報告。今後のスケジュール案等を話し合う。 | 地域日本語コーディネーター研修(12/6,7、福岡)での内容を伝え、山下の今後の取り組みを発表し、検討した。 |

5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 定住外国人のためのにほん語講座
- (2) 目的・目標 生活に密着した日本語の習得
- (3) 対象者 大人の定住外国人
- (4) 開催時間数(回数) 120 時間 (全 60 回)
- (5) 使用した教材・リソース
「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集
みんなの日本語
自主作成プリント
静岡県多文化共生課作成「地震防災ガイドブック やさしい日本語版」
- (6) 受講者の総数 28 人
(出身・国籍別内訳 ブラジル 14 名、フィリピン 11 名、中国) 2 名、アルゼンチン 1 名)
- (7) 受講者の募集方法
外国人が多く立ち寄るスーパーやお店計か所々に募集チラシを張っていただいた。また、昨年度の受講生は勿論、虹の架け橋教室・菊川「小笠教室、志太教室のOBも含めてすべての児童生徒のご父兄にも、同チラシを配布。同教室関連企業7社も同外国人従業員にも同チラシで告知して頂いた。更に、同両教室のネットワークを通じて告知した。



(8) 日本語教室の具体的内容

| 回数 | 開講日時 | 時間数 | 場所 | 国籍(人数) | 取組のテーマ | 授業概要 |
|----|---------------------------|-----|--------|---------------------------------------|-----------------|---------------------------------|
| 1 | 平成24年7月28日 15:00~17:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(4人)、 ブラジル(3人) | 自己紹介1 | 自己紹介、人やものより詳しい説明ができる |
| 2 | 平成24年7月29日 18:00~20:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人) | 自己紹介・健康を保つ | 自己紹介、医療機関で治療する1 |
| 3 | 平成24年8月4日 15:00~17:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(4人)、 ブラジル(3人) | みんなの日本語 22 課 | 約束や予定の内容・時間の用途を説明する |
| 4 | 平成24年8月5日 18:00~20:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人) | 健康を保つ | 医療機関で治療を受ける2 |
| 5 | 平成24年8月11日 15:00~17:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(4人)、 ブラジル(5人) | みんなの日本語 23 課 | 簡単な機械の使い方や道順が聞いてわかる |
| 6 | 平成24年8月12日 18:00~20:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人) | 健康を保つ | 薬を利用する |
| 7 | 平成24年8月18日 15:00~17:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(4人)、 ブラジル(5人) | みんなの日本語 23 課 | あることが行われると、必然的に別の事柄や動作が起こることを表す |
| 8 | 平成24年8月19日 18:00~20:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人) | 健康を保つ | 健康に気を付ける |
| 9 | 平成24年8月26日 18:00~20:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人) | 安全を守る | 事故に備え、対応する1 |
| 10 | 平成24年9月1日 15:00~17:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(4人)、 ブラジル(5人) | みんなの日本語 24 課 | あげます、もらいます、くれますの動詞が使い分けられる。 |
| 11 | 平成24年9月2日 18:00~20:00 | 2時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人)、 アルゼンチン(1人) | 安全を守る | 事故に備え、対応する2 |

| | | | | | | |
|----|-------------------------------------|----------|---------------|---|-----------------|--------------------------|
| 12 | 平成 24 年 9 月 8 日 15:00~17:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | フィリピン(4 人)、 ブラジル(6 人) | みんなの日本語 25 課 | 仮定での判断, 決定などが言え る。 |
| 13 | 平成 24 年 9 月 9 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | ブラジル(8 人)、 フィリピン(4 人)、 アルゼンチン(1 人) | 安全を守る | 災害に備え、対応する 1 |
| 14 | 平成 24 年 9 月 15 日 15:00~ 17:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | フィリピン(4 人)、 ブラジル(6 人) | みんなの日本語 26 課 | 自分の状況や理由を説明すること ができる。 |
| 15 | 平成 24 年 9 月 16 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | ブラジル(8 人)、 フィリピン(4 人)、 アルゼンチン(1 人) | 安全を守る | 災害に備え、対応する 2 |
| 16 | 平成 24 年 9 月 22 日 15:00~17:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | フィリピン(5 人)、 ブラジル(6 人) | みんなの日本語 26 課 | 定着を図るための練習問題 |
| 17 | 平成 24 年 9 月 23 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | ブラジル(8 人)、 フィリピン(4 人)、 アルゼンチン(1 人) | 住居を確保、維持す る | 住居を確保する 1 |
| 18 | 平成 24 年 9 月 29 日 15:00~17:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | フィリピン(5 人)、 ブラジル(6 人) | みんなの日本語 26 課 | 色々な面を想定しての練習 |
| 19 | 平成 24 年 9 月 30 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | ブラジル(8 人)、 フィリピン(4 人)、 アルゼンチン(1 人) | 住居を確保、維持す る | 住居を確保する 2 |
| 20 | 平成 24 年 10 月 6 日 15:00~17:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | フィリピン(5 人)、 ブラジル(4 人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 1 |
| 21 | 平成 24 年 10 月 7 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | ブラジル(8 人)、 フィリピン(3 人)、 アルゼンチン(1 人) | 住環境を整える | 住居を管理する |
| 22 | 平成 24 年 10 月 13 日 15:00~17:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠 教室 | フィリピン(5 人)、 ブラジル(6 人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 2 |

| | | | | | | |
|----|-----------------------------------|------|--------|---------------------------------------|---------------------|-----------------------|
| 23 | 平成 24 年 10 月 14 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人)、 アルゼンチン(1人) | 物品購入・サービスを 理硫黄する | 物品購入・サービスを利用する 1 |
| 24 | 平成 24 年 10 月 20 日 15:00~17:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 3 |
| 25 | 平成 24 年 10 月 21 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(8人)、 フィリピン(4人)、 アルゼンチン(1人) | 物品購入・サービスを 理硫黄する | 物品購入・サービスを利用する 2 |
| 26 | 平成 24 年 10 月 27 日 15:00~17:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | みんなの日本語 26 課 | みんなの日本語 26 課復習 |
| 27 | 平成 24 年 10 月 28 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(4人)、 アルゼンチン(1人) | 物品購入・サービスを 理硫黄する | 物品購入・サービスを利用する 3 |
| 28 | 平成 24 年 11 月 10 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | みんなの日本語 27 課 | 動詞の可能形の作り方 |
| 29 | 平成 24 年 11 月 11 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(4人)、 アルゼンチン(1人) | お金を管理する | 金融機関を利用する 1 |
| 30 | 平成 24 年 11 月 17 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(3人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 4 |
| 31 | 平成 24 年 11 月 18 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | お金を管理する | 金融機関を利用する 2 |
| 32 | 平成 24 年 11 月 24 日 14:00 ~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 5 |
| 33 | 平成 24 年 11 月 25 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 公共交通機関を利用 する | 電車、バス、飛行機、船等を利用 する |

| | | | | | | |
|----|----------------------------------|------|--------|---------------------------------------|--------------|-------------------|
| 24 | 平成 24 年 12 月 1 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 6 |
| 35 | 平成 24 年 12 月 2 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 防災講座 I | 地震、東南海地震、津波 |
| 36 | 平成 24 年 12 月 8 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(4人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | 日本語能力試験N4 | 練習問題 7 |
| 37 | 平成 24 年 12 月 9 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 公共交通機関を利用する | タクシーを利用する |
| 38 | 平成 24 年 12 月 15 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | みんなの日本語 27 課 | 疑問に思っていることを尋ねる |
| 39 | 平成 24 年 12 月 16 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 自力で移動する | 徒歩で移動する |
| 40 | 平成 24 年 12 月 22 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(6人)、 中国(2人) | みんなの日本語 27 課 | それぞれ乃国のクリスマスの過ごし方 |
| 41 | 平成 24 年 12 月 23 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 他者との関係を円滑にする | 人と付き合う 1 |
| 42 | 平成 25 年 1 月 12 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(3人)、 ブラジル(4人)、 中国(2人) | みんなの日本語 27 課 | 27 課のまとめ |
| 43 | 平成 25 年 1 月 13 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 | 他者との関係を円滑にする | 人と付き合う 2 |
| 44 | 平成 25 年 1 月 19 日 14:00~16:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | フィリピン(5人)、 ブラジル(4人)、 中国(2人) | みんなの日本語 27 課 | 長文を読んで理解しよう |
| 45 | 平成 25 年 1 月 20 日 18:00~20:00 | 2 時間 | 菊川小笠教室 | ブラジル(6人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 他者との関係を円滑にする | 人と付き合う 3 |

| | | | | | | |
|----|------------------------------------|----------|--------------|---|------------------------------|-----------------------|
| | | | | 人) | | |
| 46 | 平成 25 年 1 月 26 日 14:00~16:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | フィリピン(5 人)、 ブラジル(4 人)、 中国(2 人) | みんなの日本語 27 課 | まとめ |
| 47 | 平成 25 年 1 月 27 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | ブラジル(5 人)、 フィリピン(6 人)、 アルゼンチン(1 人) | 防災講座Ⅱ | 県多文化共生課中村氏の授業も あり |
| 48 | 平成 25 年 2 月 2 日 14:00~16:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | フィリピン(3 人)、 ブラジル(4 人)、 中国(2 人) | みんなの日本語 27 課 | まとめ |
| 49 | 平成 25 年 2 月 3 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | ブラジル(5 人)、 フィリピン(6 人)、 アルゼンチン(1 人) | 地域社会のルールを 守る | 住民としての手続きをする |
| 50 | 平成 25 年 2 月 9 日 14:00~ 16:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | フィリピン(3 人)、 ブラジル(4 人)、 中国(2 人) | みんなの日本語 27 課の復習と防災講座 1 | コーディネーターが棒z歳講座を行 う |
| 51 | 平成 25 年 2 月 10 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | ブラジル(2 人)、 フィリピン(6 人)、 アルゼンチン(1 人) | 地域社会のルールを 守る | 住民としてのマナーを守る 1 |
| 52 | 平成 25 年 2 月 16 日 14:00~16:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | フィリピン(3 人)、 ブラジル(4 人)、 中国(2 人) | 生活の中の日本語 | 家事をしましょう 1 |
| 53 | 平成 25 年 2 月 17 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | ブラジル(5 人)、 フィリピン(6 人)、 アルゼンチン(1 人) | 地域社会のルールを 守る | 住民としてのマナーを守る 2 |
| 54 | 平成 25 年 2 月 23 日 14:00~16:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | フィリピン(1 人)、 ブラジル(4 人)、 中国(2 人) | 生活の中の日本語 | 家事をしましょう 2 |
| 55 | 平成 25 年 2 月 24 日 18:00~20:00 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | ブラジル(5 人)、 フィリピン(6 人)、 アルゼンチン(1 人) | 地域社会に参加する | 自治会について |
| 56 | 平成 25 年 3 月 2 日 | 2 時 間 | 菊 川 小 笠教室 | フィリピン(1 人)、 ブラジル(4 人)、 | 生活の中の日本語 | 外出しましょう |

| | | | | | | |
|----|-------------------------------|-----|------------|---------------------------------------|-----------|----------|
| | 14:00～16:00 | | | 中国(2人) | | |
| 57 | 平成25年3月 2日 14:00～16:00 | 2時間 | 菊川小 笠教室 | フィリピン(3人)、 ブラジル(4人)、 中国(2人) | 生活の中の日本語 | 勉強をしましょう |
| 58 | 平成25年3月 10日 18:00～20:00 | 2時間 | 菊川小 笠教室 | ブラジル(2人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 地域社会に参加する | 余暇を楽しむ1 |
| 59 | 平成25年3月 23日 14:00～16:00 | 2時間 | 菊川小 笠教室 | フィリピン(3人)、 ブラジル(4人)、 中国(2人) | 生活の中の日本語 | 仕事をしましょう |
| 60 | 平成25年3月 23日 18:00～20:00 | 2時間 | 菊川小 笠教室 | ブラジル(2人)、 フィリピン(6人)、 アルゼンチン(1人) | 地域社会に参加する | 余暇を楽しむ2 |

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

防災講座

添付した自主作成教材で、12月に静岡県内で流された「防災メール」と、関心が高い「東南海地震のメカニズム」を解説した。

また、静岡県多文化共生課の中村氏が、同課で作成した「地震防災ガイドブック やさしい日本語版」とDVDで、地震や津波について詳しい授業をして頂き、受講生も大いに満足した様子だった。

(10) 目標の達成状況・成果

Aクラスの「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案教材例集を使用した授業は、受講生に地震や津波に対する不安もその対応が分かり、評判だった。

Bクラスは、報告書通り、日本語能力試験N4合格を目指して指導したが、受験した4名は合格を果たした。

(11) 改善点について

焼津・藤枝地区の受講生は、教室が遠方であることが課題だったが、本事業で新年度志太教室(焼津市内)でも開催できることになった。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 日本語教師育成講座

(2) 目的・目標 当協会静岡事務局所属日本語教師で、有資格者でありながら指導経験が

浅い職員を講座を運営できる教師に育成する。

- (3) 対象者 当協会所属所日本語教師職員
- (4) 開催時間数(回数) 120 時間 (全 60 回)
- (5) 使用した教材・リソース
「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集
みんなの日本語
自主作成プリント
静岡県多文化共生課作成「地震防災ガイドブック やさしい日本語版」
- (6) 受講者の総数 2 人
(出身・国籍別内訳 日本 2名)
- (7) 受講者の募集方法
当協会所属所日本語教師職員当協会所日本語教師属職員
- (8) 養成・研修の具体的内容

| 指導者／補助者 | 氏名 | 所属・役職 |
|----------|----------|---------------------------|
| 指導者 | 福井 紀子 | 菊川小笠教室日本語教師 |
| 指導者 | 浅井 徹 | 志太教室日本語教師 |
| 指導者 | 松岡 みどり | 菊川小笠教室日本語教師 |
| 補助者 | 木原 郁乃 | 菊川小笠教室日本語教師 |
| 補助者 | 坂東 麻子 | 菊川小笠教室日本語教師 |
| 通訳 | 河村メリアン | 志太教室バイリンガル講師 |
| 通訳 | 内田アドラシオン | 志太教室バイリンガル講師 |
| コーディネーター | 山下 泰孝 | NPO日本インターネットスクール協会理事 長 |

- (9) 特徴的な授業風景(2～3回分)
日本語能力試験受験指導については、練習問題を基に実践的な指導を教授した。
また、特にAクラスにおいては、「生活者としての外国人に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集」を基に、文法重視指導より、場面指導に徹した。Bクラスは、前年度の指導の踏襲もあり、合間に場面指導を取り入れた。

- (10) 目標の達成状況・成果
単に地補助指導に限らず、カリキュラムの編成や自主教材編集も指導し、実践指導も取り入れて指導した結果、新年度は講座を運営できる教師に育成できた。
- (11) 改善点について
日本語教師資格のない者を、日本語教師 420 時間コースを受講させながら、併せて実践指導を試みたい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 静岡県中部版防災テキスト
- (2) 対象 静岡県中部地区在住外国人
- (3) 目的・目標
東南海地震に対する知識を身に付け、その備えと対応ができるようにする。
- (4) 構成 A4版 11 ページ
- (5) 使い方 コピーして使用
- (6) 具体的な活用例 外国人コミュニティの集まりで配布する

8. 事業に対する評価について

- (1) 事業の目的
日本語を母国語としない外国人に、就職の際に有利になるような日本語能力を身につける。また、職種による日本語の専門用語も指導する。また、地域社会の住民として生活できるための日本語も取り入れ、且つ、地域柄防災講座も取り入れながら、多文化共生に寄与する。加えて、それを指導する日本語教師 420 時間コース修了者、又は日本語教師育成希望者に、補助者として、もしくは実習として経験を積ませ、より良い日本語教師を育成する。
- (2) 目標の達成状況・事業の成果
定住外国人が地域社会の住民として生活できる基礎は指導できた。併せて、東日本大震災後、特に浜岡原発のあえる静岡県中部地区においては、東南海地震の発生予測が叫ばれて久しく、地震や津波に対する不安を抱いていた外国人にとっては、その備えと対応が分かり、成果があった。また、日本語能力試験N4合格者も出すこともできた。
- (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について
日常生活の場面での日本語指導のため、受講生からは評判が良かった。
- (4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等
菊川・掛川地区、焼津・藤枝地区共に、市役所、警察署、国際交流協会、教会及び協会所属外国人コミュニティ、派遣会社と当事務局との連携もできており、同講座の告知度は広まっている。

(5) 改善点, 今後の課題について

前項通り、同講座の告知度は広まっているが、予算の関係で、同講座の教室展開ができない。私共は定住外国人のための日本語講座は、内容重視のため、ボランティアに頼る考えはないので、その資金確保が今後の課題である。